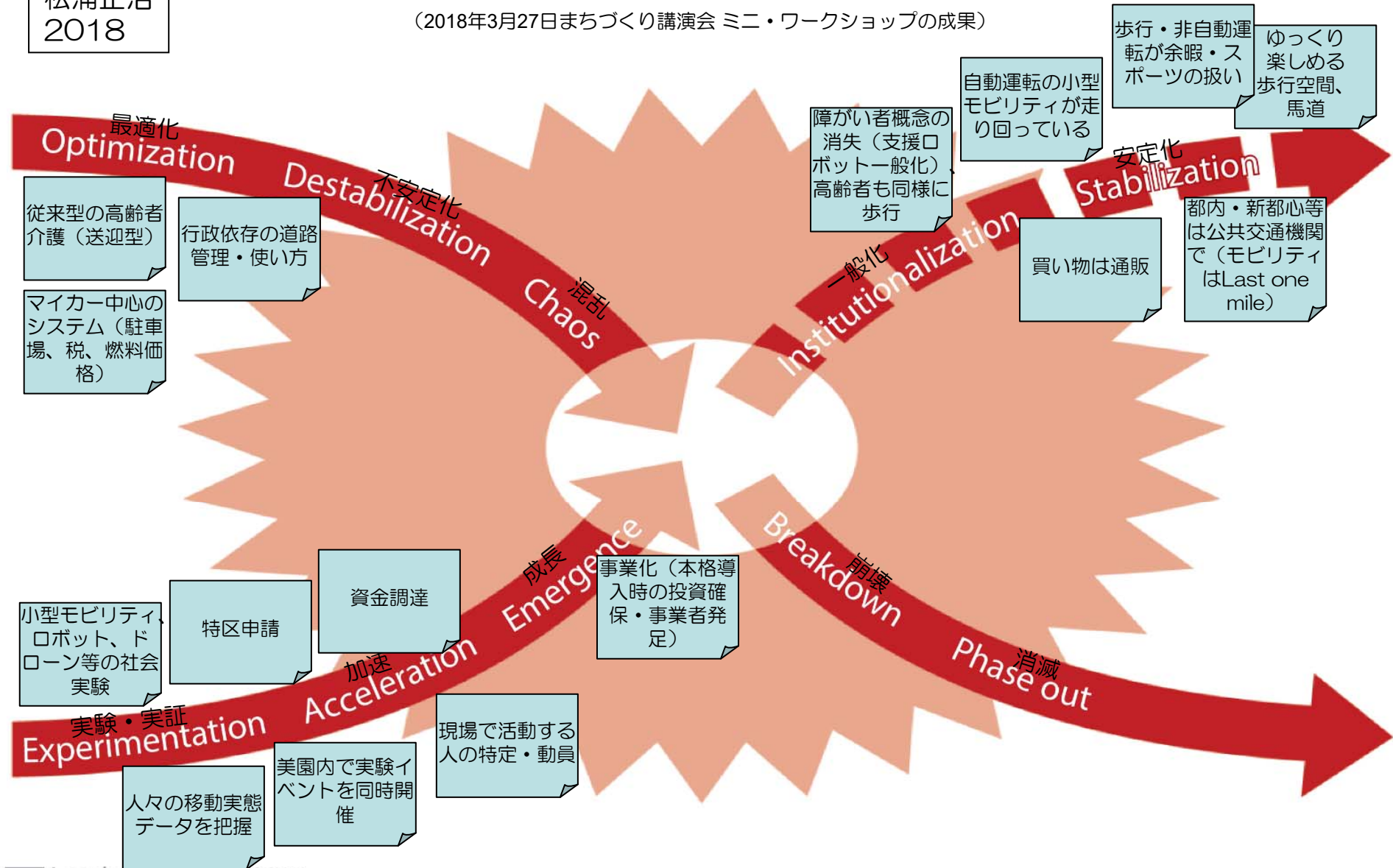


松浦正浩
2018

高齢化が進む美園に向けたモビリティ*・トランジション

(2018年3月27日まちづくり講演会 ミニ・ワークショップの成果)



Loorbach D, et al. 2017.
Annu. Rev. Environ. Resour. 42:599–626

*人々の移動・交通のこと。「小型モビリティ」というときは、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両のこと。

松浦正浩
2018

高齢化が進む美園に向けた モビリティ・トランジションの戦略

(2018/3/27 まちづくり講演会 ミニ・ワークショップの成果)

問題意識

- ・ 急激な高齢化が予期される美園において、2050年の美園のモビリティ（人々の移動）がどのようになっていけば、「持続可能（サステイナブル）な美園」でしょうか？
- ・ 現状のどのような社会システムが持続可能ではないでしょうか？
- ・ システムを変えるためにいま、何ができるでしょうか？

参加者のみなさんのご意見

2050年の美園のすがた

- ・ 高齢者もパワードスーツ等の支援で、若者と同等の行動が可能
- ・ 美園内で自動運転の小型モビリティが走り回る
 - － 東京や新都心への移動は浦和美園駅から公共交通機関を利用
- ・ 非自動の移動（運転、自転車、乗馬、歩行…）は貴重で余暇として認識
- ・ 買い物は通販が前提

変わらなければならない現在の社会システム

- ・ 朝夕の送迎で自主性のない高齢者介護
- ・ マイカー前提のシステム（駐車場、低い燃料価格など）
- ・ 行政依存の道路管理

システムを変えるためにいまからできる行動

- ・ 小型モビリティやドローン等の社会実験活性化
 - － 美園内の社会実験イベントは同時多発的に実施して住民等へアピール
- ・ 美園内における移動データの把握
- ・ 特区申請、資金調達
- ・ 実際に活動する人の特定